



リリースノート

ソフトウェア 1.8 | 2014 年 12 月 | 3725-69898-004 Rev A

Polycom[®] RealPresence[®] Capture Server



Polycom RealPresence Capture Server の紹介

Polycom® RealPresence® Capture Server は、標準規格ベースのビデオ通話とテレプレゼンス通話に参加することができる録画とストリーミングのシステムです。システムは、互換性のある Web ブラウザを備えたデバイスによるライブでの閲覧のためにこれらの通話のビデオとコンテンツをライブストリーミングに変換したり、ビデオ会議システムおよび互換性のある Web ブラウザを備えたデバイス (タブレット、スマートフォン、PC、Mac、デスクトップなど) での再生のためにビデオオンデマンドのアーカイブに変換したりします。

バージョン 1.6 からは、RealPresence Capture Server で Appliance Edition と Virtual Edition の両方が提供されるようになりました。Virtual Edition は、通常、Polycom RealPresence Platform の一部として導入されますが、スタンドアロンのソリューションとして使用することも可能です。

本書では、RealPresence Capture Server の最新情報と以下の項目についてご説明します。

- [ソフトウェアバージョン履歴](#)
- [既知の問題](#)
- [インターオペラビリティ](#)
- [ポートの使用方法](#)
- [マルチユーザログインの容量](#)
- [サポートされているメディアプレーヤのプラグイン](#)
- [サポートされている外部メディアサーバ](#)
- [サポートされている Web ブラウザ](#)

RealPresence Capture Server の構成方法および使用方法の詳細については、「[RealPresence Capture Server User Manual](#)」から入手可能な製品ドキュメントをご参照ください。



メモ: v1.8 にアップグレードする前にパッチ v1.7 Rev.16506 が必要です。

v1.7 Rev.16506 より前の Capture Server バージョンを使用しているシステムでは、まずパッチ v1.7 Rev.16506 を適用して、バージョン 1.8 へのシステムアップグレード後にフォールバック機能が正常に動作するようにしておく必要があります。

ソフトウェアバージョン履歴

次表は、RealPresence Capture Server のバージョン履歴の一覧を示します。

ソフトウェアバージョン履歴

バージョン	リリース日	説明
1.8	2014 年 12 月	機能リリース。
1.7	2014 年 8 月	機能リリース。
1.6.1	2014 年 4 月	メンテナンスリリース
1.6	2014 年 3 月	このリリースでは、Appliance Edition と Virtual Edition の両方を提供しています。これは、RealPresence Capture Server Virtual Edition の最初のリリースです。
1.0	2013 年 7 月	これは、RealPresence Capture Server の最初のリリースです。

バージョン 1.8 の新機能

RealPresence Capture Server 1.8 には、以下の新機能が搭載されています。

- 主要機能の RestAPI の公開
- オフライントランスコーディング時に重複サムネイルをユーザが自動的に削除できる機能
- イベント発生前に参加者が共有できるよう、ダイヤルアウトコールのイベントを定義し、プレイベント ライブストリーミング URL リンクおよび/またはプレイベント マルチキャスト URL を構成する機能のサポート
- 管理者が各ストリーム（ローカルストリーム、外部メディアサーバ、CDN ストリーム）に名前を付け、それらのストリーム名をすべてポータルに表示する機能
- AD ユーザが AD アカウントで Capture Server にアクセスできるようにするための、Capture Server と Microsoft AD サーバとの統合
- Capture Server でのビデオ再生を、Polycom RMX の会議通話（バージョン 8.5 以降、SIP 通話）経由で閲覧し、参加者が見やすくなるように再生ビデオの会議レイアウトを変更できる機能のサポート
- システムの最初のセットアップを簡単かつ素早く行える高速構成ウィザードの提供（このウィザードでのすべての設定は、あとでさまざまな構成ページで変更が可能）。詳細は『ユーザガイド』をご参照ください。
- ユーザがアーカイブをリモートストレージサーバに転送し、通話終了後にローカルディスクからアーカイブを削除する機能
- Annex O スタイルのダイヤルフォーマット ([user@domain.com](#) & [user@IPAddress](#)) のフルサポート
- システムをアップグレード前の状態に簡単に戻せるようにするシステムフォールバックのサポート
- ユーザフレンドリな GUI コンソール



メモ: Capture Server システムのダウングレードにシステムアップグレード機能を使用しないでください。
管理者ポータルで [管理] > [システムのフォールバック] の順に選択し、RealPresence Capture Server システムをダウングレードします。

バージョン 1.7 の新機能

RealPresence Capture Server 1.7 には、以下の新しい機能が搭載されています。

- WMV でのライブストリーミング、トランスコーディング、ビデオオンデマンドをサポート
- クイックコードを使用したビデオエンドポイントからの再生をサポート（ダイヤルイン通話のみ）
- ユーザが録画とライブ通話の通話時間を制限できる機能をサポート（制限時間に達すると、録画を自動停止し、録画中のクライアントの接続を切断）
- MP4 ライブストリーミングと WMV ライブストリーミングのマルチキャストをサポート
- 高解像度 1080p でのライブストリーミングとアーカイブをサポート（この機能を有効にすると、容量が最大の 1080p 30fps に増加）
- その他の品質およびパフォーマンスに関する改善
- 2 地点録画をサポート
- ストリーミング機能を強化
- SIP を使用して会議にダイヤルインしており、RealPresence Collaboration Server システムで [レコーディングリンク] 機能が有効になっている場合に、録画セッション中に会議レイアウトを Capture Server から設定または変更することができる機能をサポート

バージョン 1.6.1 の新機能

RealPresence Capture Server 1.6.1 には、以下の新機能が搭載されています。

- DSP カードのない Capture Server Appliance Edition のサポートを追加
- Polycom RealPresence Media Manager とのインターオペラビリティの問題を解決
- その他の既知の問題を解決

バージョン 1.6 の新機能

RealPresence Capture Server 1.6 には、以下の新機能が搭載されています。

- 録画なしストリーミングのサポート。ライブストリーミングのみの実行が可能で、アーカイブは作成されません。
- タイムコードを使用してビデオ録画にウォーターマークを付加する機能をサポート
- Real Time Messaging Protocol (RTMP) を使用した AKAMAI サーバへの会議のストリーミングをサポート

- Capture Server のユーザポータルから Media Manager V6.6 以降 (またはサードパーティのポータル) のホームページにビジターをリダイレクトする機能 メモ: この機能は、RealPresence Media Manager V6.6 または別の外部ポータルを使用して、視聴者のユーザにライブストリーミングおよびオンデマンドストリームへのアクセスを提供する場合に大変便利です。
- Capture Server Virtual Edition のサポートを追加



メモ: ユーザまたはパートナーが RealPresence Media Manager をアップグレードすることはできません。

ユーザまたはパートナーが RealPresence Media Manager をアップグレードすることはできません。RealPresence Capture Server をバージョン 1.6 にアップグレードする前に RealPresence Media Manager をアップグレードするには、Polycom の代理店に見積価格についてお問い合わせください。

バージョン 1.6 では、Polycom ポータル (support.polycom.com) からライセンスキーを取得する必要があります。問題がある場合は、Polycom サポートまでお問い合わせください。

1.0 から 1.6 へのシステムアップグレードを行う前に、ネットワークの FTP サーバに MP4 と RAW のメディアファイルをバックアップし、移行機能を有効にして、後でこれらを復元する必要があります。移行に関する詳細は、『ユーザガイド』をご参照ください。

Capture Server Virtual Edition の設定要件

Capture Server Virtual Edition を設定するには、基本的なハードウェア構成を備えたサーバを用意して、NFS を設定する必要があります。

次表は、RealPresence Capture Server - Virtual Edition のハードウェア要件を示します。

ハードウェア要件は容量レベルによって異なることにご注意ください。ハードウェアは、ライセンスを受けた容量レベルを達成する最低要件を満たさなければなりません。要件を満たさないハードウェアの使用は、録音および再生の品質に影響します。詳細については、『Virtual Edition ユーザガイド』をご参照ください。

ハードウェア要件

同時録画ポート	6	12	18	40
ライブストリーミング	3	6	9	0
仮想コア	8+	12+	16+	8+

同時録画 ポート	6	12	18	40
CPU	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650@ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650@ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650@ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650@ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU
最小 RAM 容量	16 GB	16 GB	32 GB	32 GB
アクセス可能な最小ストレージ容量	80 GB	120 GB	120 GB	120 GB
ソフトウェア要件	VMWare 5.1/5.5	vSphere VMWare 5.1/5.5	vSphere VMWare 5.1/5.5	vSphere VMWare 5.1/5.5



メモ: Virtual Edition のメディアストレージには NFS 構成が必要です。

Capture Server Virtual Edition では、メディアストレージとして NFS 共有が必要です。Virtual Edition メディアストレージには NFS を構成する必要があります。

正しく書き込めるように NFS ストレージが構成されていることを確認する必要があります。さもないと、Capture Server システムはいかなるメディアもそのストレージに録画することができません。

NFS サーバの設定例は、『Capture Server 入門ガイド』をご参照ください。

既知の問題

本項では、RealPresence Capture Server の本リリースにおける既知の問題を示します。回避策がある問題は、それらも示します。既知の問題のリストは、種類別に構成されています。

エンドポイント録画

6825 録画テンプレートに2つの通話レートを設定し、Polycom HDX シリーズから Capture Server システムにダイヤルインしたとき、実際の通話レートが、設定されているセカンダリストリーミングレート以下だった場合、ライブストリーミングの通話レートは1つしか適用されず、同じ通話レートで2つのアーカイブファイルが作成されます。

回避方法:通話レートを、セカンダリストリーミングレートより高くします。

パフォーマンス

6016 状況によっては、Capture Server システムが何日か稼働した後、NFS サーバまでの往復遅延がアラートしきい値を超えたと Capture Server システムが警告することがあります。

再生

5591 iOS デバイスで MP4 1080p ライブストリーミングを再生する場合、ビデオと音声の同期がとれません。

回避方法:その Web ページをリフレッシュします。

7030 アーカイブに対する PIN コード保護を有効に設定して、Capture Server から、Polycom RealPresence Collaboration Server 経由でホストされている会議にダイヤルアウトした場合、ビデオ通話再生を開始するための PIN コードを入力することができません。

回避方法:アーカイブに対する PIN コード保護を無効に設定します。

プリリンク

6907 URL 拡張子またはマルチキャスト URL 拡張子を指定する必要があります。さもないと、プリリンクイベントが作成されても、プリリンク URL は生成されません。

回避方法:プリリンク URL を作成するには URL 拡張子を指定します。

RAID 10 ハードウェア ストレージ アレイ

3545 故障したハードディスクを、RAID 情報が書き込まれている使用済みハードディスクと交換した場合、RealPresence Capture Server はその使用済みハードディスクのリカバリを行うことができません。

回避方法: 新しいハードディスクと交換するか、あるいは交換前に Fdisk などのツールで使用済みハードディスクのパーティションセクタを消去します。

録画

- 6345** 2 地点通話で、[メディアの暗号化] を一方のエンドポイントで [すべての通話に必要] に設定し、もう一方を [オフ] に設定すると、[通話情報の詳細] の暗号化情報が正しく表示されません。
回避方法: 両方のエンドポイントの [メディアの暗号化] を [相手側で暗号化が有効の場合] に設定します。
- 6928** **Polycom Collaboration Server 1800** がホストとなっている会議に 通話レート 1920 Kbps でダイヤルインし、[Conference Profiles] の下で [Conference Mode CP and SVC] が設定され、さらに 2 つのフラグ (ENABLE_HIGH_VIDEO_RES_ AVC_TO_SVC_IN_MIXED_MODE および ENABLE_HIGH_VIDEO_RES_ SVC_TO_AVC_IN_MIXED_MODE) が有効な場合、通話レートは 2Mbps より低くなければなりません。さもないと、会議は音声のみになります。
回避方法: 1. これらのフラグを無効にし、他の設定はそのままにします。
2. これらのフラグを有効にし、テンプレートの通話レートを 768 Kbps に制限します。
- 7000** Capture Server はアンダースコア “_” を含んでいる SIP URL にダイヤルアウトすることができません。
回避方法: ダイヤルアウト SIP URL をアンダースコア文字を含まないように変更するか、Capture Server にダイヤルインするか、SIP の代わりに H.323 を使用します。
- 7001** Polycom RealPresence Desktop が Capture Server に SIP でダイヤルインして録画されたビデオの再生を開始した場合、コンテンツが表示されません。
回避方法: 録画の再生に RealPresence Desktop を使用する場合は、H.323 で接続します。
- 7023** Capture Server が、RealPresence Group Series 700 および RealPresence Desktop (バージョン 3.2) との 2 地点録画を行った場合、RealPresence Desktop はコンテンツを送信することができません。
回避方法: RealPresence Desktop をバージョン 3.3 にアップデートします。

デリバリプロキシ

- 6060** 大きい VoD ファイル (約 8 時間の録画) を再生する場合、最大 3 分間待つ必要があります。
回避方法: メディアファイルの生成後、約 3 分間待つから再生します。

SNMP

- 6869** MIB には *polycom-recording-streamingNotifications* OID が存在しますが、まだサポートされていません。

システム構成

- 6578** システムは、負荷が極端に大きい場合、2 つ以上のトランスコード サービスを同時に開始することがあります。

6842 システムの起動時に、H.323 および SIP が有効になっている場合でも、SNMP では無効と表示されます。

回避方法: SIP および H.323 GK を無効にしてから、再度有効にします。 SNMP ステータスが正しくレポートされるようになります。

6877 Capture Server をシャットダウンして、数日後にシステムを再起動すると、ログパッケージが正しく圧縮されていません。

回避方法: その日付以降の名前が付いたログパッケージに加えて各ログファイルを別々にダウンロードします。

アップグレード

6324 まれに、Capture Server システムが *.pkg installer* パッケージをアップロード中にタイムアウトになることがあります。

回避方法: システムを再起動してから再試行します。

6568 状況によっては、http 経由で 1.8 以前のバージョンからアップグレードしたとき、アップグレードに成功しても、https ログインページの管理者ポータルへのリダイレクトに成功しないことがあります。

回避方法:

- ◆ アップグレードの前に Web ブラウザのアドレスバーに `https://ip/admin` と入力し、アップグレードを行います。
- ◆ アップグレードの後に、Web ブラウザのアドレスバーに `http://ip/admin` または `https://ip/admin` と再入力して管理者ポータルにログインします。

6853 まれに、管理者ポータルに管理者認証情報でログインし、ログインがタイムアウトになったとき、ページがタイムアウトになったことを示すメッセージの代わりに一般的なエラーページが表示されることがあります。

回避方法: Web ブラウザを再起動します。

Web ポータル

2832 ごくまれに、構成した外部サーバにアーカイブがアップロードされていないのに、このアーカイブの再生が可能であるとユーザポータルに表示されることがあります。しかし、RealPresence Capture Server が外部サーバにこのアーカイブを見つけられないため、このアーカイブを再生することはできません。

回避方法: Capture Server システムと外部メディアサーバ間の接続が良好であることを確認します。 ファイルを回復させるには、外部メディアサーバへのアップロードに失敗したアーカイブファイルを削除して、そのファイルをトランスコードします。 これにより、ファイルは、再度、外部メディアサーバにアップロードされます。

- 5358** Capture Server で、小文字 (a ~ z)、大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、および下線 (アンダースコア) の範囲外の文字を使用してユーザアカウントを作成した場合、そのユーザアカウントを使用して管理者ポータルやユーザポータルにログインすることはできません。
- 5990** **[構成] > [システム時刻]** の順に選択し、タイムサービスを設定すると、一部の iPad および Android デバイスで **NTP サーバ**と**コンソール**間を切り替えることができません。
回避方法:PC または MacBook を使用して、**NTP サーバ**または**コンソール**を Capture Server のシステム時刻として設定します。
- 6048** 録画テンプレートに 2 つの通話レートを設定し、より低い通話レートでエンドポイントがダイヤルインした場合、ライブストリーミングポートのリソース計算が正しく行われません。
回避方法:通話レートは、セカンダリ ライブストリーミングレートより高くなければなりません。
- 6080** Windows 8 上で Internet Explorer 11 を実行してライブストリーミングまたは VoD を再生した場合、フルスクリーン再生を行うことができません。
回避方法:代わりに Firefox または Chrome を使用します。
- 6090** システムの再起動後に管理者ポータルにログインすると、Capture Server システムは、「ログインしています。お待ちください...」というメッセージを表示し続けます。
回避方法: ページを更新します。
- 6281** ポータルで AKAMAI HDS ストリーミングを数分再生した後、ビデオではなくメッセージのみが表示されることがあります。
回避方法: ポータルから、再度、ストリーミングを再生します。
- 6633** Capture Server とエンドポイントの間で通話を接続し、MacBook の Safari でライブストリーミングを再生するとき、Safari で VoD を再生する際に *clientaccesspolicy.xml* をダウンロードし続けます。
回避方法: ダウンロードが完了するのを待つか、Chrome や Firefox のような他の Web ブラウザを使用します。
- 6685** 録画テンプレート内でストリーミング名を編集し、その後マウスをスクロールすると、テキストフィールドに新たに入力した値が自動的に消えます。
回避方法: ストリーミング名フィールドの外のいずれかのスペースをクリックして、**[OK]** をクリックします。ストリーミング名が保存されます。
- 6793** Capture Server 管理者ポータルで、ログインする前にシステムのビルド情報を見ることはできません。
回避方法:システムを再起動すると、ビルド情報は正しく表示されます。
- 6833** Capture Server 管理者ポータルに 2 つの Web ブラウザからログインして、両方ともホームページに移動し、一方の Web ブラウザから到達できないアドレスにダイヤルアウトをすると、両方の Web ブラウザに同じ通話失敗のエラーメッセージが表示されます。
回避方法: エラーメッセージを閉じます。

- 6878** **SNMP Agent のバージョンをバージョン 3 からバージョン 2 またはバージョン 1 に変更すると、バージョン 3 の情報履歴が残ったままになります。**
回避方法: SNMP Agent バージョン 3 の設定を最初に削除してから、SNMP Agent のバージョンをバージョン 2 またはバージョン 1 に変更します。
- 6952** Windows メディアサーバおよび AKAMAI メディアサーバを構成する場合、VRR を作成してそれをライブストリーミングサーバに追加して、[ストリーミングエイリアス] を設定し、設定した VRR を使用して録画を行ったとき、[メディア]>[ライブストリーミング] 上のストリーミング名が正しくありません。
回避方法: Capture Server システムから提供されているデフォルトのストリーミング名を使用します。
- 7013** ダイヤルするエンドポイントがより高い通話レートを扱うことができない場合、Capture Server の [通話] Web ページには、実際の通話レートが正しく表示されます。しかし、通話が録画されストリームされたことを通知する電子メールには、実際の通話レートではなく、テンプレートで設定された通話レートが表示されます。
回避方法: 実際の通話レートが示される Web ポータルの [通話レート] を参照します。

インターオペラビリティの制限

- 2805** Capture Server システムと、BFCP over UDP のみをサポートする相手側システムとの間の SIP 通話において、コンテンツ録画が失敗します。これは、Capture Server では BFCP over TCP しサポートされていないためです。
- 4475** Android 4.2 の携帯電話で、ユーザポータルからライブストリーミングや VoD を再生した場合、[フルスクリーン] ボタンを使用することができません。
- 4476** Android 4.2 タブレットで、ユーザポータルからライブストリーミングや VoD を再生した場合、[フルスクリーン] ボタンが機能しません。
- 5340** 録画リンクが、暗号化された SIP である場合、会議の録画を制御するために DTMF を使用すると IVR が聞こえません。
- 5400** H.323 名に ñ や ç のような文字が含まれるエンドポイントから Capture server システムにダイヤルインした場合、ライブストリーミング名は w00f1 や w00e7 と表示され、ダウンロードされたアーカイブのサブディレクトリ名は空白になります。
- 6611** RadVision Scopia XT1000 システムと RealPresence Capture Server 間でライブストリーミングを使用して SIP 通話を行っている間に、RadVision Scopia XT1000 システムが DualVideo (BFCP ベースの人物+コンテンツ) を RealPresence Capture Server に送信すると、RealPresence Capture Server にコンテンツのみが表示されます。
回避方法: 代わりに Capture サーバから Radvision にダイヤルアウトします。
- 6648** IIS がストリーミングサーバとして使用されている場合、主に iPad で断続的な音声およびビデオ再生の問題が発生することがあります。

回避方法: ライブストリーミングを、直接 Capture Server から閲覧するか、または WOWZA をストリーミングサーバとして使用します。

- 6716** SIP 通話において、Polycom は Lifesize Team 200 エンドポイントから RealPresence Capture Server へのコンテンツの送信はサポートしていません。

回避方法: H.323 通話を使用します。

修正された問題

バージョン 1.8 リリースで修正された問題を次表に示します。

管理者ポータル

- 4950** Capture Server システムを再起動した場合、Web ポータルが使用可能になるまでに 10 分かかっていました。この問題は解決されました。
- 5041** セッションタイムアウトのために、アップグレードパッケージのアップロードが遅くなったり、ときには失敗したりすることがありました。この問題は解決されました。
- 5139** **[構成] > [シグナリング設定]** の順に選択した場合、H.323 と SIP の両方のシグナリング設定を一度に保存することはできませんでした。この問題は解決されました。
- 5140** メディアストレージ設定を変更し、システムを再起動した場合、管理者ポータルへの最初のログインでは **[データのバックアップ/復元]** ボタンを使用することはできませんでした。この問題は解決されました。
- 5154** 管理者ポータルには、ログファイルを手動で削除するためのボタンがありませんでした。この問題は解決されました。
- 5185** **[構成] > [診断]** の順に選択し、ホスト名を入力して **[PING]** をクリックすると、「**有効な IP アドレスを入力してください。**」という警告メッセージが表示されました。この問題は解決されました。
- 6279** Windows メディアサーバの VoD リンクは、Chrome または Firefox では機能しませんでした。この問題は解決されました。

インターオペラビリティの制限

- 2891** Polycom RMX システムで、SIP または H.323 VSW 会議のライブストリームにレコーディングリンクが使用されている場合、会議の回線速度が 128 kbps、256 kbps、または 384 kbps に設定されていると、会議は常に音声のみの録音になっていました。この問題は解決されました。
- 3291** SIP 通話において、Polycom は Lifesize Team 220 エンドポイントから RealPresence Capture Server へのコンテンツの送信はサポートしていませんでした。この問題は解決されました。

- 4491 Android 4.1.2 のシステム制限のため、Android 4.1.2 デバイスで IIS メディアサーバを使用してライブストリーミングと VoD を再生することができませんでした。この問題は解決されました。
- 4925 Cisco C シリーズ、E シリーズおよび Tandberg 880MXP エンドポイントを使用した H.323 通話では、FEC の問題のために、リモコンの上下左右ボタンを使用して録画と再生を制御することができませんでした。この問題は解決されました。
- 4994 Polycom VVX 500 と VVX600 のエンドポイントを使用した H.323 通話では、セッションのエンドポイント再生でビデオ映像が表示されませんでした。この問題は解決されました。
- 5196 Cisco TelePresence システムから RealPresence Capture Server にダイヤルインした場合、TV UI のメニュー画面の下部に黒い線が表示されました。この問題は解決されました。
- 5270 Android 4.1.2 システムで、ライブストリーミングと VoD の再生に失敗することがありました。この問題は解決されました。
- 5422 iOS デバイス (iPhone/iPad) を使用して、1080p の MP4 ファイルに対して Wowza サーバから VoD を再生することはできませんでした。この問題は解決されました。
- 6209 Radvision XT5000 または XT1000 が相手側の Capture Server に SIP プロトコルでダイヤルインした場合、コンテンツは BFCP 容量の不一致のため録画することができませんでした。(人物ビデオは録画も再生も問題なく行えます。) この問題は解決されました。

MCU 録画

- 2690 SIP プロトコルでは、RMX システムと Capture Server システムとの間で LPR (Lost Packet Recovery) が機能しませんでした。この問題は解決されました。
- 4892 [メディアの暗号化] を [相手側で暗号化が有効の場合] または [すべての通話に必要] に設定した場合、Polycom RMX の制限のために、Capture Server システムと RMX システム間での音声のみの録音を設定することができませんでした。この問題は解決されました。
- 5177 H.323 通話で暗号化が有効になっている場合、MGC と Capture Server システム間での録画を設定することはできませんでした。この問題は解決されました。

PKI

- 5284 [構成] > [証明書の管理] の順に選択し、[証明書のインストール] をクリックすると、[パスワード] テキストボックスは常に編集できないようになっていました。この問題は解決されました。

再生

- 3316 アーカイブの長さが 8 時間を超える場合、初回は再生することができませんでした。この問題は解決されました。



メモ: それぞれの録画を 8 時間未満に制限します。

質の高いビデオ録画を実現するには、それぞれの録画時間を 8 時間未満に制限します。

ポータル

6337 Firefox から Capture Server システムにログインした場合、**[通話]** ページに表示される通話情報は、末尾の番号が長すぎると境界線を超えて表示されました。この問題は解決されました。

RAID 10 ハードウェア ストレージアレイ

3548 RealPresence Capture Server が実行中に、1 台または複数のハードディスクで故障または動作停止が発生した場合でも、管理者ポータルの RAID ステータスは変化せず、正常と表示されたままでした。この問題は解決されました。

録画

6316 Capture Server で 2 地点録画を実行し、Polycom RealPresence Group Series から RealPresence Desktop にコンテンツをプッシュすると、初回は RealPresence Desktop でコンテンツが表示されません。

6335 **[最大解像度]** が 1080p、WMV ライブストリーミングのレイアウトが**デュアルウィンドウ [コンテンツ] (コンテンツは、非アクティブのとき黒画面)** で、**ストリーミングレート**が 1024 Kbps 未満の場合、管理者ポータルで、WMV レートが間違っ表示されました。この問題は解決されました。

システム構成

5335 警告メッセージ (電子メールやアラート) が発信されないように、**[ログ警告容量]** を 70 から 80 に増やしても、警告メッセージが引き続き送られてきました。この問題は解決されました。

5341 システム構成をデフォルト値に復元するためにコンソールから reset config コマンドを発行したあと、証明書の構成をデフォルト設定に復元することができませんでした。この問題は解決されました。

5530 **[構成] > [カスタマイズ] > [IVR メッセージ]** の順に選択し、ウェルカムメッセージとして IVR メッセージをアップロードした後でも、そのメッセージが有効になりませんでした。この問題は解決されました。

5667 /var/tmp ディスク領域 (最大 40GB) を一時ファイルの *Archivexxx.zip* が使い切ってしまうと、Capture Server システムでソフトウェアのアップグレードをしたり、ログファイルをダウンロードしたりすることができなくなりました。(一時ファイルの *Archivexxx.zip* は、ユーザがメディアタイプとして **[全体]** を指定してアーカイブファイルをダウンロードすると、毎回生成されます。) この問題は解決されました。

トランスコーディング

- 5427** Polycom RealPresence Collaboration Server を使用した録画会議で、Polycom RealPresence Collaboration Server の **[Conference Profiles] > [Video Quality]** の **[Multiple Content Resolutions]** オプションが有効に設定されていると、Capture Server で録画されたビデオのレイアウトは、Polycom RealPresence Collaboration Server がコンテンツ送信を停止した後も、コンテンツなしのレイアウトに切り替わりませんでした。この問題は解決されました。

TV UI

- 6359** Polycom RealPresence Group Series の内蔵 MCU を使用した会議通話で、会議に最初にダイヤルインしたのが Capture Server だった場合、Capture Server の TV UI が黒画面になりました。この問題は解決されました。

アップグレード

- 6314** バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へのアップグレードを行う場合、アップグレードのタイムアウトというポップアップメッセージが表示されることがあります。

ビデオ

- 5150** 解像度 128x96 のアーカイブでは、ビデオ録画のウォーターマークが判読できませんでした。この問題は解決されました。

ユーザポータル

- 5129** Capture Server システム上で通話が進行中に [シグナリング設定] を変更すると、その通話が切断されました。この問題は解決されました。
- 5359** 128 kbps のライブストリーミングを表示させた場合、メディアプレーヤの再生が停止して、黒い画面が表示されることがありました。この問題は解決されました。

インターオペラビリティ

Polycom RealPresence Capture Server システムは、さまざまな製品との組み合わせで広範にテストされています。以下のリストは、インターオペラビリティのある機器の完全なリストではなく、本システムとのインターオペラビリティテストが完了した製品を示したものです。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (H.323)

下表は、H.323 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server と他の Polycom 製品との間のインターオペラビリティを示します。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (H.323)

タイプ	製品	バージョン
ゲートキーパー、 ゲートウェイ、 および MCU	Polycom CMA4000/5000	6.2.4, 6.2.5
	Polycom DMA 7000	6.1.1, 6.2.0
	Polycom RMX 1000/500	2.5, 2.5.1
	Polycom RMX 1000C/500C	2.5, 2.5.1
	Polycom RMX 1500/2000/4000	8.4, 8.5
	Polycom RMX 1800	8.4, 8.5
	Polycom RMX 800VE	8.4, 8.5
	Polycom RMX 800S	8.3, 8.4
	Polycom MGC	9.0.4
エンドポイント	Polycom RealPresence Group シリーズ	4.1.4, 4.2
	Polycom HDX シリーズ	3.1.5, 3.1.6
	Polycom VSX シリーズ	9.0.6.1, 9.0.6.2
	Polycom QDX シリーズ	4.0.2, 4.0.3
	Polycom PVX	8.0.2, 8.0.4
	Polycom VVX	5.1.1, 5.0.2
	CMA Desktop PC/Mac	5.2.5, 5.2.6
	Polycom® Telepresence M100	1.0.6, 1.0.7
	Polycom RealPresence Desktop	3.2.1, 3.3
	Polycom RealPresence Mobile (iPad、iPhone4s)	3.2.1
	Polycom RealPresence Mobile (Android)	3.2.1
コンテンツ マネジメ ント システム	Polycom RealPresence Media Manager	6.6
	Polycom RealPresence Media Editor	6.6

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (H.323)

次表は、H.323 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server とサードパーティ製品との間のインターオペラビリティを示します。

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (H.323)

タイプ	製品	バージョン
ゲートキーパー、 ゲートウェイ、 および MCU	Codian MCU 4505	4.5 (1.45)
	Cisco VCS	X8.2.1
エンドポイント	RadVision Scopia XT1000	02.05.0416
	Tandberg Edge95 MXP	F9.3.1
	SONY PCS-G50	2.72
	SONY PCS-XG80	2.42
	Cisco EX90	7.1.4
	Sony PCS -1	3.42
	Tandberg MXP 770	FC7.3.1
	Tandberg C20	TC2.1.2
外部メディアサーバ	Wowza	3.5.0
	IIS メディアサービス	4.1
	Windows メディアサーバ	9.6
	AKAMAI	最新

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (SIP)

下表は、SIP 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server と他の Polycom 製品との間のインターオペラビリティを示します。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (SIP)

タイプ	製品	バージョン
ゲートキーパー、 ゲートウェイ、 および MCU	Polycom DMA	6.1.1, 6.2.0
	Polycom RMX 1000/500	2.5, 2.5.1
	Polycom RMX 1000C/500C	2.5, 2.5.1
	Polycom RMX1500/2000/4000	8.4, 8.5
	Polycom RMX 1800	8.4, 8.5
	Polycom RMX 800VE	8.4, 8.5
	Polycom RMX 800S	8.3, 8.4
エンドポイント	Polycom HDX シリーズ	3.1.5, 3.1.6
	Polycom VVX	5.1.1, 5.0.2
	Polycom PVX	8.0.2, 8.0.4
	Polycom RealPresence Group シリーズ	4.1.5
	Polycom RealPresence Desktop	3.2.1, 3.3
	Polycom RealPresence Mobile (iPad, iPhone4s)	3.2.1
	Polycom RealPresence Mobile (Android)	3.2.1

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (SIP)

次表は、SIP 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server とサードパーティ製品との間のインターオペラビリティを示します。

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (SIP)

タイプ	製品	バージョン
SIP サーバ、ゲートウェイ、 および MCU	Codian MCU 4505	4.5 (1.45)
	Cisco VCS	X8.2.1
エンドポイント	SONY PCS-G50	2.72

タイプ	製品	バージョン
	SONY PCS-XG80	2.42
	Cisco EX90	7.1.4
	Tandberg Edge95 MXP	F9.3.1
	LifeSize Team 220	4.12.3 (4)
	RadVision Scopia XT1000	2.5.416

ポートの使用方法

表 6 は、RealPresence Capture Server のポートの使用方法を示します。

ポートの使用方法

用途		タイプ	ポート範囲
http		TCP	80 (IPv4 の場合のみ)、8080
https		TCP	443 (IPv4 の場合のみ)、8443
Trace (テクニカルサポート専用)		UDP	60001 (設定変更可能)
SMTP		TCP	25
ストリーミング (RTSP、HLS、SSTR)		TCP	1640 (設定変更可能)
		UDP	6970 - 6971
シグナリング/ メディア	RAS	UDP	1719
	Q.931 ソケット	TCP	1720
	H.245 ソケット	TCP	10000~10199 (設定変更可能)
	音声/ビデオ/データ	UDP	20000~20999 (設定変更可能)
	SIP BFCP	TCP	20000~20049 (設定変更可能)
		UDP	10000~10049 (設定変更可能)
外部メディアサーバー	Wowza		1935 (設定変更可能)
	IIS メディアサーバ		80 (設定変更可能)

用途	タイプ	ポート範囲
	Windows メディアサーバ	80 ~ 554 (設定変更可能)
	AKAMAI	1935 (設定変更可能)
マルチキャスト	MP4	1641 (設定変更可能)
	WMV	1640 (設定変更可能) および 1641 (設定変更可能)

マルチユーザログインの容量

管理者ポータルセッションおよびユーザポータルセッション (匿名ログインを含む) の最大数は以下のとおりです。

- 管理者ポータルセッション: 200
- ユーザポータルセッション: 3000

サポートされているメディアプレーヤのプラグイン

次表は、サポートされているメディアプレーヤのプラグインを示します。

サポートされているメディアプレーヤのプラグイン

オペレーティングシステム	メディアプレーヤのプラグイン名	メディアプレーヤのバージョン	MP4
Windows Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、 Internet Explorer 11、Chrome 36、 Chrome35、 Firefox 31、 Firefox 32	Microsoft SilverLight	5.1.30514.0	サポート対象
MAC Safari 7.0.6、 Chrome 36、 Chrome37、 Firefox 31、 Firefox 32	Microsoft SilverLight	5.1.30514.0	サポート対象

サポートされている外部メディアサーバ

次表は、サポートされている外部メディアサーバを示します。

サポートされている外部メディアサーバ

サーバ名	バージョン	デフォルトポート	ライブストリーミング	ビデオオンデマンド
IIS-7 メディアサーバ	4.1	80	サポート対象。 Windows、Mac OS、および iOS でサポート	サポート対象。Windows と Mac OS でサポート
Wowza メディアサーバ	3.5.2, 4	1935	サポート対象。 Windows、Mac OS、IOS、および Android OS でサポート	サポート対象。 Windows、Mac OS、IOS、および Android OS でサポート
Windows メディアサーバ	9.6	80/554	サポート対象。 Windows OS でサポート	サポート対象。Windows OS でサポート

サポートされている Web ブラウザ

サポートされている Web ブラウザを次表に示します。

サポートされているブラウザ

オペレーティングシステム	ブラウザ名	バージョン
PC (Windows 7 および Windows 8)	Internet Explorer	9, 10, 11
	Firefox	32, 33
	Chrome	38, 39
MAC OS-X (Intel ベースの Leopard、Snow、および Lion)	Safari	7.1, 8.0
	Firefox	32, 33
	Chrome	38, 39

オペレーティングシステム	ブラウザ名	バージョン
iOS 7、8	Safari	7.1.2 8.1.1
Android 携帯電話およびタブレット	Android ブラウザ	4.3, 4.4.2

Copyright ©2015, Polycom, Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、その形態や、電子的または機械的などの手段、または目的を問わず、Polycom, Inc. の書面による許可を受けずに複製または転送することを禁止します。法律によって、他の言語への翻訳および他のフォーマットへの変換も複製とみなされます。

6001 America Center Drive
San Jose, CA 95002
USA

商標



Polycom®、Polycom ロゴ、および Polycom 社製品に関連する製品名およびマークは、Polycom, Inc. の商標および（または）サービスマークであり、米国およびその他の国における登録商標および（または）慣習法で認められたマークです。他のすべての商標や著作権は、それぞれの会社が所有しています。この文書のいかなる部分も、Polycom の書面による許可を受けずに、受領者の個人的な使用を除くいかなる目的でも、その形式または方法を問わず、複製または転送することを禁じます。

使用許諾契約書

本ソフトウェアを使用するには、Polycom RealPresence Capture Server のエンドユーザ使用許諾契約 (EULA) の条項および条件に同意する必要があります。

お使いのバージョンのエンドユーザ使用許諾契約は、Polycom RealPresence Capture Server の Polycom Support ページをご参照ください。

特許情報

付随製品は、米国および諸外国の 1 つ以上の特許権によって保護されているか、Polycom, Inc. による特許申請中として保護されています。

本製品で使用されているオープンソースのソフトウェア

本製品には、オープンソースソフトウェアが含まれる場合があります。ソフトウェアの送付や配布にかかる費用以外は無償で、該当する製品またはソフトウェアの配布日から最大 3 年間、ポリコムからオープンソースソフトウェアを受け取ることができます。ソフトウェアに関する情報、および本製品で使用されているオープンソースのソフトウェアのコードをご希望の場合は、Polycom まで電子メール (OpenSourceVideo@polycom.com) にてお問い合わせください。

免責事項

Polycom は本書に掲載されている情報が正確かつ最新であるよう万全を期しておりますが、情報の正確性を保証または表明することはありません。Polycom は、本書のコンテンツにおけるタイプミス、その他のエラー、または削除について何ら責任を負いません。

責任の制限

Polycom およびその供給者は、いかなる目的でも、本書に掲載される情報の適合性について表明することはありません。情報は、現状のまま提供されるものであり、いかなる種類の保証もないものとします。本書の情報は予告なしに変更されることがあります。使用される際のリスクは、すべてお客様が負担するものとします。Polycom またはその供給者は、いかなる直接的、結果的、偶発的、特殊、懲罰的、またはその他の損害 (営業収益の損失、業務の中断、業務情報の消失を含むが限定されない) の責任を、前述の損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切負わないものとします。

お客様からのご意見

当社では、マニュアルの品質向上に取り組んでおります。お客様からのご意見をぜひお聞かせください。ご意見やご感想は電子メールにて DocumentationFeedback@polycom.com までお送りください。



エンドユーザ使用許諾契約、ソフトウェアのダウンロード、製品マニュアル、製品ライセンス、トラブルシューティングのヒント、サービス要請などについては、[Polycom Support Center](#) をご参照ください。